

中期経営計画

DSA 2021

Diamond Shine Again to 2021

2016年11月29日

1 過去の実績と振り返り(エリア別、事業別)

2 経営理念と未来像

中期経営戦略骨子

2017～2021年度 中期事業計画

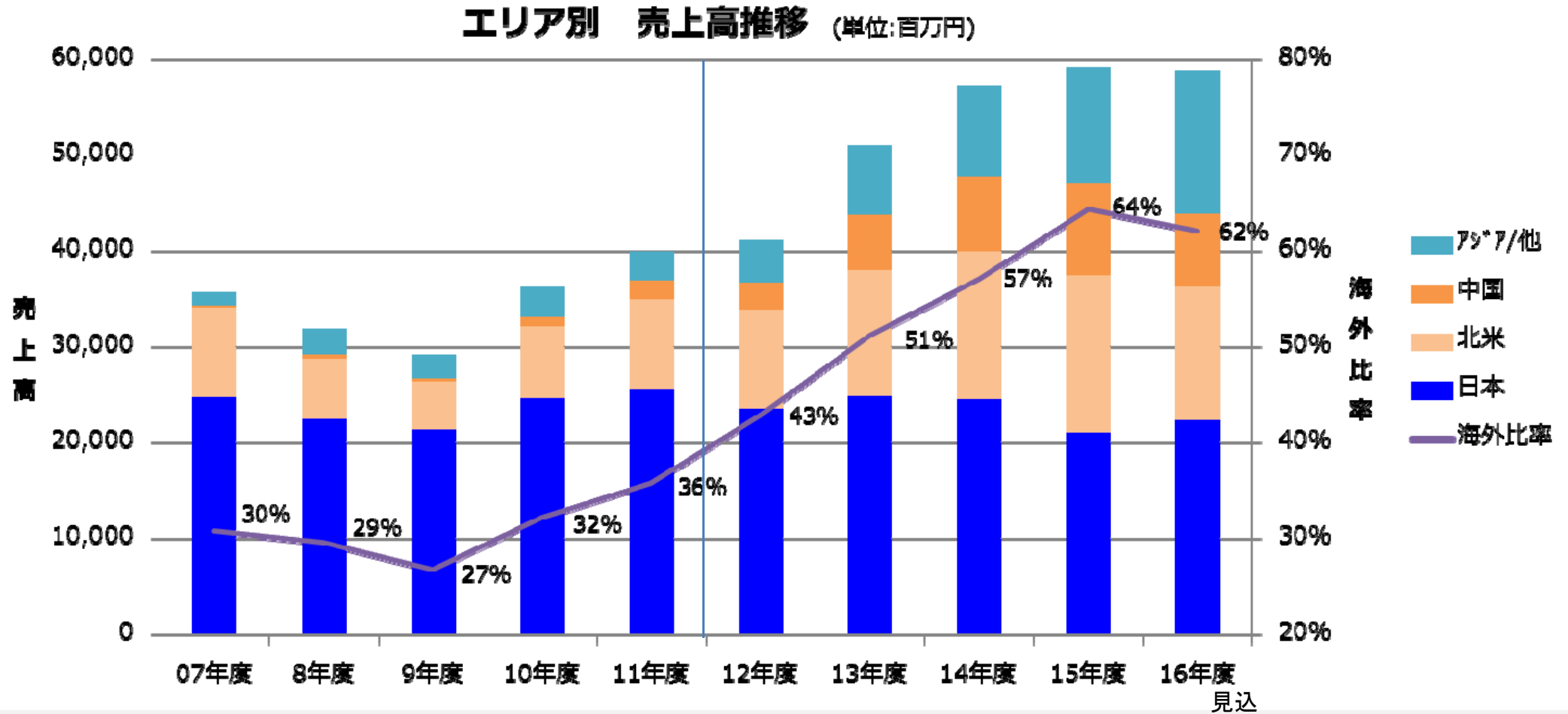
事業別計画 (自動車機器事業、電子機器事業)

事業別戦略骨子(自動車機器事業、電子機器事業)

3 経営指標

過去の実績と振り返り

①エリア別売上高

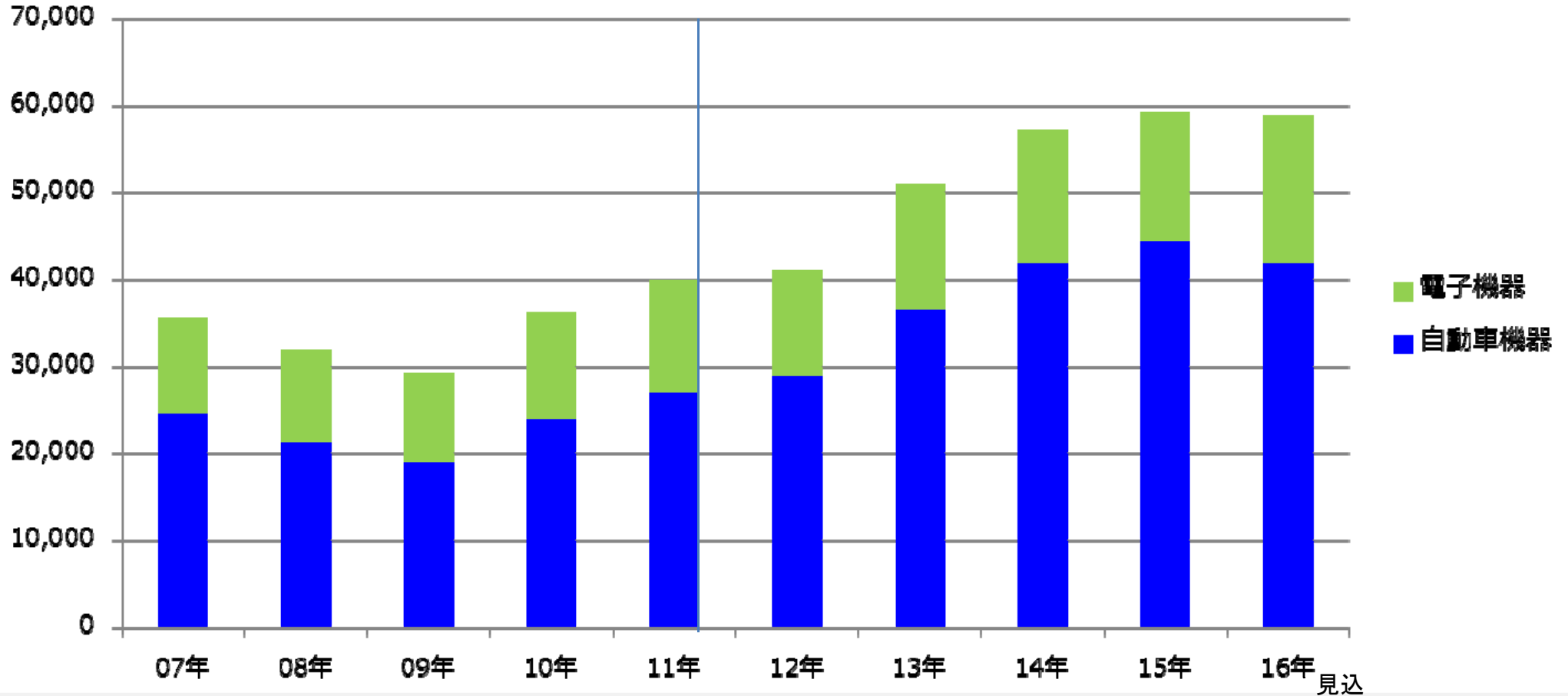


海外の売上高に於いては、特に新興市場における旺盛な需要を背景として、海外比率の上昇が示す通り、年々重要度が高まりをみせている。順調な海外展開の側面として、為替変動による売上への影響が大きくなっている。

過去の実績と振り返り

②事業別売上高

事業別 売上高推移 (単位:百万円)



新興国でのモータリゼーションの加速と過去の投資が実を結び、自動車事業の伸張が大きく寄与することで5カ年伸張は150%と好調に推移(好調は維持するも本年度は為替影響により微減)。

電子機器事業の伸張により事業合計は昨対同等レベルを維持する見込み。

経営理念

(2016年10月制定)



私達はものづくりを通じてお客様の発展に寄与し、
信頼を積み重ね、社会の豊かさに貢献することで、
多面体に耀き働く仲間達の物心両面の幸せを追求します。

我が社の未来像

～5年後の姿～

売上高 1,000 億円 達成

- ◆ 点火コイルシェア世界一
- ◆ 電子・車載電装事業 売上高比率5割達成
- ◆ IoTを軸とした新規事業創出

中期 経営戦略 骨子

1. 経営戦略骨子

- 中期経営計画達成の最重要投資対象、即ち肝は、“エネルギー変換効率追求”である。
- エネルギー変換効率追求の具体的な指針は、
点火機器事業に於いては、“燃費改善”、
車載電装品事業及び電子機器事業に於いては、“省電力”である。

2. 各事業別経営戦略

①自動車機器事業

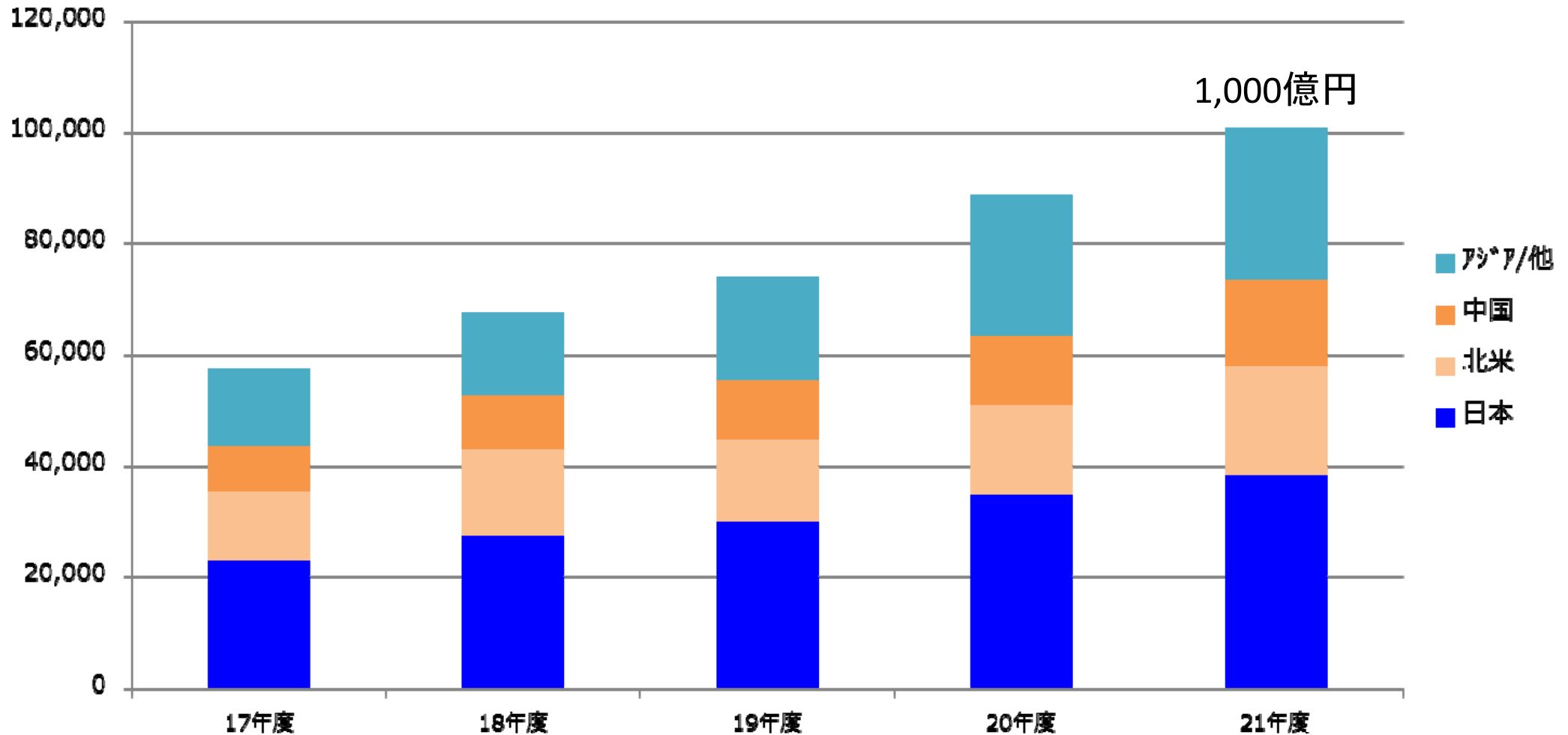
- 点火コイル市場での世界No.1シェア獲得
- 自動車に於ける電力変換製品市場での拡販

②電子機器事業

- リチウムバッテリー蓄電市場での国内No.1シェア獲得
- 省エネ電源技術のグローバル市場展開

中期経営計画売上高推移

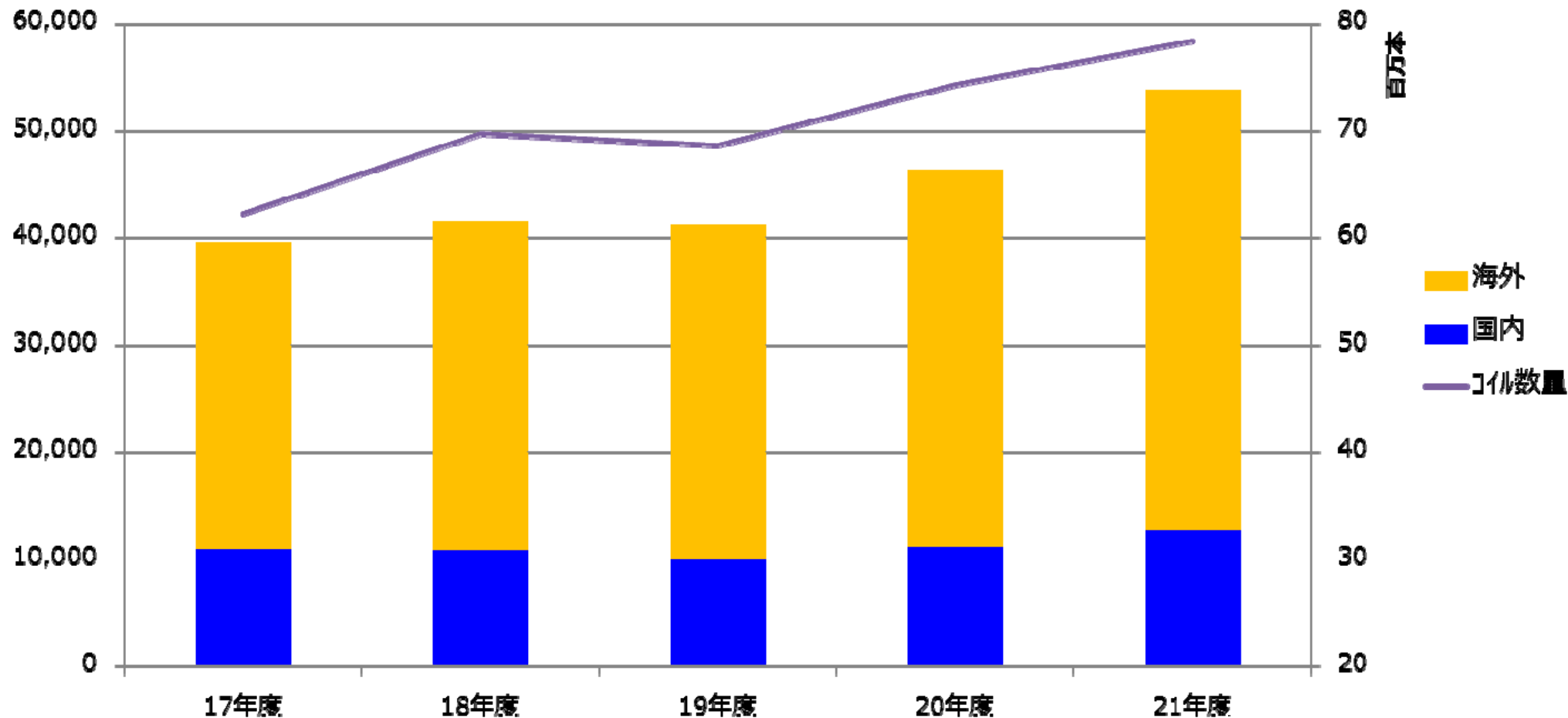
2017-21年 中期計画 売上高推移 (単位:百万円)



海外市場への積極的活動を継続するとともに、国内市場活動の強化で経営の安定化を図る。

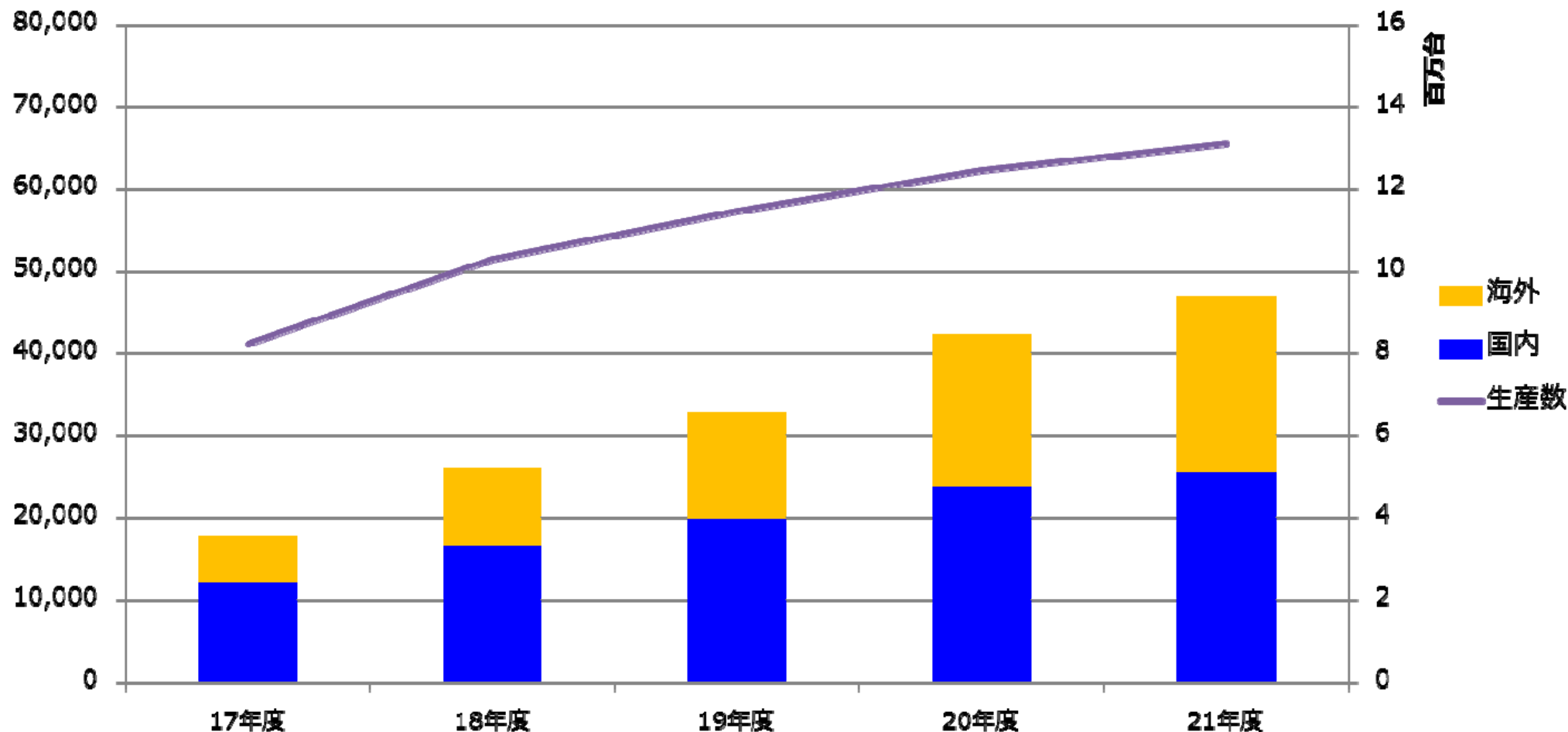
事業別計画(自動車機器)

自動車機器事業 売上高推移 (単位:百万円)



成長市場である北米・中国・アジアへの点火コイル、及び車載電装品の拡販強化により、事業売上の拡大を図る。

電子機器事業 売上高推移 (単位:百万円)



国内市場では蓄電用パソコンの新製品開発と拡販に注力。海外市場ではインバータを軸とした省エネ製品、電源制御製品の拡販強化により売り上げ拡大を図る。

	2015年度	2016年度(見込)	2021年度
売上高	592億円	568億円	1,000億円以上
営業利益率	4.0%	2.5%	6.0%以上
ROE	-19.2%	6.3%	15.0%以上
投資計画 (5カ年累計)	—	—	200億円以上